

[ソリッソ]

sorriso

経営者に「笑顔」をつくる
経営者の「やる気」を支援

編集・発行  福島県商工会連合会
地域力連携拠点・事業承継支援センター

[ソリッソ]

sorriso

経営者に「笑顔」をつくる
経営者の「やる気」を支援

編集・発行  福島県商工会連合会
地域力連携拠点・事業承継支援センター



CASE
03

きっかけは倒病から
「食」と「農」への挑戦

(株)ダイゴ・専務取締役

五十嵐 幸子 氏



CASE
05

環境にやさしい
地盤改良事業の展開

(株)吉田設備・代表取締役

吉田 一伸 氏



CASE
01

「満足度・コミュニケーション」で
気軽に来店できる店づくり

Honda Cars いわき中央 (株)小野モータース・代表取締役

小野 勝康 氏



CASE
04

「もったいない！」から
新たなノウハウの開発

わくわくあぶくま夢ファーム・代表

佐藤 喬 氏



CASE
02

建設業から
農業分野への挑戦

高橋建設(株)・代表取締役

高橋 徳 氏

CASE 01



浜通り いわき地区

活用した中小企業施策

経営革新
制度資金

corporate profile

- 企業名：Honda Cars いわき中央 (株)小野モータース
- 代表取締役：小野 勝康氏
- 従業員：27名
- 資本金：2,800万円
- 設立：1964年11月(昭39年11月)
- URL：http://dealer.honda.co.jp/hondacars-iwakichuo/

いわき市内郷、自由ヶ丘にてホンダ販売店『Honda Cars いわき中央』2店を経営する。平成17年ホンダ販売店2,230店を対象とした顧客満足度調査では全国第1位。



「満足度・コミュニケーション」で 気軽に来店できる店づくり

Honda Cars いわき中央 (株)小野モータース

小野代表との出会い

「こんにちは」突然事務所のドアが開き、スッキリとした着こなしの相談者が現れた。

アポイント相談が多い当事務所において、飛び込み相談は珍しい。

新たなビジネスモデル立上について行政機関に相談したところ当事務所を紹介されたとのことだった。



▲接客する小野代表

「満足度・コミュニケーション」で 気軽に来店してもらえらるきっかけをつくりたい!

小野代表(以下:代表)の経営スタンスは『満足度・コミュニケーション』代表の経営するHonda Cars いわき中央(株)小野モータースは、全国のホンダ販売店を対象とした顧客満足度調査においても上位常連の販売店である。

「取組み当初は、短期効果無く社員に説明するのが難しかったが、職場の5Sから始まりお客様への挨拶など凡事徹底した結



▲笑顔と元気な挨拶でお客様を迎えていた営業の石井氏 ▲お客様を笑顔で迎えるのは、代表の奥様(左)と事務の田中さん(右)

果」とのこと。

近年、まちなかでも小売店の減少が進み、気軽に会話を楽しめる機会は極端に減少している。

そこで『満足度・コミュニケーション』視点から企画検討したのが『自動車関連用品保管サービス』であった。

代表は「住宅事情により冬タイヤを始めとする自動車・バイク関連用品の保管に問題を抱えているお客さまが意外に多いことに気づき、安価な保管サービスを提供することで、気軽に来店いただくきっかけとしたい」と話す。



▲お客様と談笑する技術の阿部氏

お客様からの反響(取組み結果)

コンテナ倉庫を準備し平成21年秋よりサービスを開始した。「実は困っていた」や「便利だよ」などお客さまの反響は良く、徐々にご利用頂く方が増えてきていると取組み結果は上々のようである。

▶左から順に、渡部、小野代表、川島

支援者の声

新たな取組みの実現化は簡単ではないと思いますが、今後も支援機関を活用しチャレンジして頂きたい。

(内郷商工会/経営指導員・渡部憲司)

いわき市では有りそうで無かったサービス。取組みがお客様さまとの新たな絆作りなると良いですね。

(福島県商工会連合会・浜通り広域指導センター/応援コーディネーター・川島秀一)



CASE 02



浜通り 南相馬地区

活用した中小企業施策

経営革新 研究開発補助金
産学官連携 専門家派遣

corporate profile

- 企業名：高橋建設(株)
- 代表取締役：高橋 徳氏
- 従業員：21名
- 資本金：1,000万円
- 設立：1976年1月(昭51年1月)

南相馬市鹿島区にて建設業営む。竹粉・電解イオン水を活用した農法に出会い本格的に農業分野へ。「米・食味鑑定士協会主催第11回米・食味分析鑑定コンクール国際大会」上入賞。



建設業から農業分野への挑戦

高橋建設(株)

高橋代表との出会い



▲笑顔で応じる高橋代表

「変わった農法への取組みを進めている事業所があるから応援したいんだけど、事業化支援手伝って貰えない?」商工会経営指導員の紹介で高橋代表(以下:代表)とは初めて出会った。

初対面から交通事情で遅刻し恐縮する我々をさり気無く気遣う人柄であった。

新たな農法との出会い 農業分野進出への決意!

代表は、先細る建設需要を見込み数年前から新たな事業を考えていた。そんな折、建設機械メーカーの紹介である農園を視察。竹粉・電解イオン水農法に出会い「これだ!!」と直感し農業分野進出を決意した。

「この農法は、農作物自身が持つ“強さ”を高める農法。収穫された農作物は、自分で言うのもなんだが、本当に良い物なので早く食卓に提供したい」と代表は思いを話す。



▲竹粉・電解イオンの説明をする高橋代表

美味しく、安全、環境にやさしい農法

竹粉・電解イオン水農法は、竹やイオン水の特性を活かし、化学肥料や農薬を使うことなく美味しく・安全な農作物を作る農法であり、土壌環境にもやさしい。

産学官連携を活用して研究

「竹粉肥料や電解イオン水が土壌及び農作物に与える影響を把握するために、福島工業高等専門学校様と実証実験を現在進めている。慌しく始めた実験であるが平成22年4月には結果を公表出来そうだ」と代表は話す。



▲福島工業高等専門学校・大隈信行 教授

▶鈴木(左)、高橋代表(右)

支援者の声

きわめてユニークな栽培法ですが、事業の方向性は間違っていないと確信しています。そのためにも、高専の工学的手法による技術支援が、成果に結びつくよう頑張ります。

(福島工業高等専門学校/大隈信行 教授)

新規参入であるため、新農法を受け入れることができたのだと思います。全国の食卓に届くまで応援します。

(鹿島商工会/経営指導員・鈴木秀明)

生産する農作物は自然味濃厚で安心。確かな農作物が早く全国へ広まると良いですね。

(福島県商工会連合会・浜通り広域指導センター/応援コーディネーター・川島秀一)



CASE 03

会津 喜多方地区

活用した中小企業施策

経営革新 専門家派遣
農工商連携

corporate profile

- 企業名：(株)ダイゴ
- 代表取締役：五十嵐 正信氏
- 専務取締役：五十嵐 幸子氏
- 従業員：68名
- 資本金：1,000万円
- 設立：1958年4月(昭33年4月)

喜多方市の建設会社。平成16年健康福祉事業部を立ち上げ、「食」と「農」ビジネスに進出。平成20年福島県内初のHACCP*対応型の院外調理施設を操業。

きっかけは倒病から 「食」と「農」への挑戦 (株)ダイゴ



五十嵐代表、五十嵐専務との出会い



▲五十嵐専務

五十嵐代表(以下:代表)、五十嵐専務(以下:専務)との付き合いは、新たな事業展開を模索していた平成15年から。巡回から戻ると、久しぶりに専務から「次の事業ステージについて相談したい」と連絡があった。

きっかけは五十嵐代表の倒病 手軽に、美味しく安全な食事を提供したい!

「公共事業減少により売上が落ち込む中、不規則な生活やストレスが積み重なり、平成12年に代表が心筋梗塞で倒れた。食生活の改善により健康を取り戻したことが『食』と『農』ビジネスのきっかけ」と専務は話す。

「健康は日々の『食』が大事と分かったが、患者や家族に難しい栄養管理ができるのか?病院や介護施設の方々も本来の業務で忙しい。食生活の改善や食事の提供のお役立ちができないか?農園、HACCP*対応工場も立ち上げた。経験豊富なスタッフもいる。やりたい。やれる。やらなきゃ。やるう!」そんな思いからこの事業は始まった。



▲HACCP*対応工場の様子

※HACCP:食品製造工程の危害を予測し、不良製品出荷を未然に防ぐ仕組み。

病院、農業者、大学との連携

「当社の栄養食は、一般のレトルト食と違い患者さん一人ひとりに合わせたもの。しかも会津野菜を使い安定供給するためには、製造の仕組みとともに、食材を仕入れる仕組み作りが大事。病院・農業者・大学等とのつながりや仕組み作りを進めている」と代表は話す。



▲野菜を生産するのは(株)ダイゴ農園

地域を元気にするモデル作りを目指す!

「美味しく・安全・手軽な食事の提供だけでは終わりにたくない」「お年寄りや患者を支える家族・病院の方々の負担軽減になれば良い。会津産の野菜を使うことで、農家が元気なる手伝いをしたい。長い目で見ると健康な方が増え、医療費の抑制にもつながれば良い」そんなモデル作りがこの事業の最終目標である。



▶小堀(左)、五十嵐専務(右)

支援者の声



関係者からの期待は日々高まっている。開発スピードを上げつつも、着実な取り組みを積み重ねて頂きたい。
(福島県商工会連合会・会津広域指導センター/応援コーディネーター・小堀健夫)

「もったいない!」から 新たなノウハウの開発 わくわくあぶくま夢ファーム



CASE 04

中通り 田村地区

活用した中小企業施策

経営革新 専門家派遣
制度資金

corporate profile

- 企業名：わくわくあぶくま夢ファーム
- 代表取締役：佐藤 喬氏
- 従業員：6名
- 設立：2005年9月(平17年9月)
- U R L : <http://www.chabudai.net/110wakuwaku.html>
<http://www.dryfoods.net/>

田村市滝根町にて、農産物の低温乾燥・微粉末加工品の製造販売、受託加工を行っている。NPO法人日本ドライフーズ普及協会理事長。

佐藤代表との出会い

「農業経営を支えるために頑張っている方を一緒に応援できない?」商工会経営指導員からの電話で佐藤代表(以下:代表)とは出会った。気さくな方で、笑いを交えながら構想や新商品計画を説明して頂いた。



▲佐藤代表(右)と奥様(左)

「もったいない!」からの発想 新たなノウハウの開発

代表は元々農業で生計を立てていたが、見た目だけの問題で規格外品扱いになり、生産した農作物の一部が出荷できないことも度々発生し、思うような結果が得られず苦慮していた。そこで、農業に企業経営の考えを取り入れ、『生産』から『エンドユーザー』が欲しい商品製造まで事業拡大することを思い付き、行動を起こした。

「低温乾燥機を使い試行錯誤を繰り返した結果、3日間で渋柿をジューシーな甘柿『あんぼ柿』にできたときは本当に嬉しかったよ」



▲農作物の酵素やビタミンを壊さず、風味もそのままに加工するノウハウを開発。

と代表は思い出を話す。その後も低温乾燥や微粉末加工の実験を繰り返し、農作物の酵素やビタミンを壊さず、風味もそのままに加工するノウハウを続々開発。現在は、チップ、パウダー、錠剤等の各種製品を製造し、首都圏を中心に販売しているほか、低温乾燥・微粉末加工の受託を行っている。

平成20年にはNPO法人日本ドライフーズ普及協会を設立。全国の農産物生産者の収益向上支援を本格化させ、業界から注目されている。



▲高機能性農産物を利用したオリジナル商品も手がける。

お客様からの反響(取組み結果)

「色の変色や有効成分減少を抑えることができる特殊加工は、様々な農作物に対応できるので、徐々にですが引き合いも増えている。このノウハウを農業発展のために役立てたい」と代表は抱負を話す。

▶左から順に、佐藤代表、太田、佐藤代表の奥様



支援者の声

農工商連携は重要なキーワード。農業者と商工業者のパイプ役として、さらに活躍されることを期待します。

(天栄村商工会/事務局長・元 滝根町商工会/経営指導員・合津修平)

受託加工の引合いも多いとのこと、嬉しい限りです。企業規模拡大による地域雇用の面でも期待しております。

(福島県商工会連合会・中通り広域指導センター/応援コーディネーター・太田修)

corporate profile

- 企業名：(株)吉田設備
- 代表取締役：吉田 一伸氏
- 従業員：14名
- 資本金：2,300万円
- 設立：1980年1月(昭和55年)

建設業。管工事・水道本管工事を主力とし、環境保全型の軟弱地盤改良工法(天然砕石パイル工法「HySPEED 工法」)による新事業を立ち上げ現在進行中。

環境にやさしい 地盤改良事業の展開

(株)吉田設備

経営革新へ取り組むきっかけ



▲吉田代表

公共工事が年々大幅減少し主力管工事・水道本管工事業業が伸び悩む中、吉田代表(以下:代表)は、これまでの工事実績や技術力など会社の経営資源を活かせる新たな事業を模索していた。そんな中、将来会社の柱となる事業として白羽の矢を立てたのが環境保全型地盤改良事業。

計画具体化に経営革新制度が有効と知り、商工会の支援を受け計画づくりがスタートした。

環境にやさしい地盤改良工事 (天然砕石パイル工法)の導入

天然砕石パイル工法(「HySPEED 工法」)による地盤改良は、他工法と比較して液状化現象に強くコンクリートや金属を使わないため発がん性物質や産業廃棄物処理など環境汚染の心配がない。また、短期間施工できるため工事によるCO₂排出が少なく(建坪20坪の場合約2,000Kg削減)、一般住宅や公共施設の軟弱地盤改良工事に適した環境にやさしい工法である。吉田社長は、この事業を経営の2本目の柱にするため社内体制作り



▲天然砕石パイル工法(HySPEED工法)の様子

工事実績の積み重ねと営業活動

当初は実績が無く思うように受注が取れない状況が続いた。工法の特徴をお客様に理解いただき実績を積み重ねることが事業拡大のポイントであった。

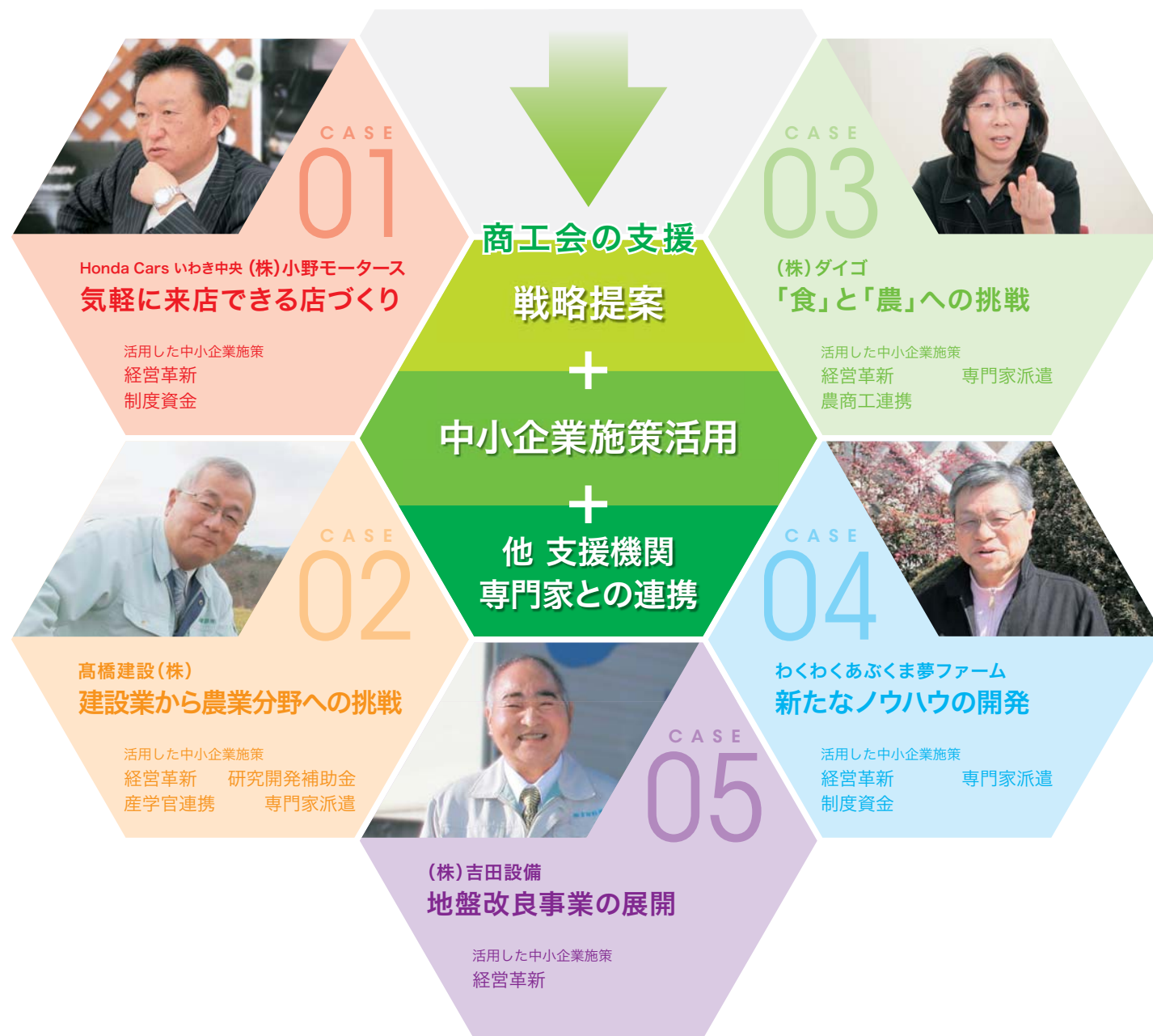
そこで吉田社長は、お客様の不安を解消するため施工前の地盤調査から施工後の性能検査、地盤保証までを一貫して行うサービスを導入。現在、一般工務店やハウスメーカー向けに工法説明会や施工現場見学会を開催し着実に施工実績を増やしている。環境負荷の小さい当社工事を直接指定されるお客様(施主)も増加中。



支援者の声

技術・品質・信頼を経営理念とする通り丁寧確実な工事と地域密着経営を実践されています。また、育児休暇制度や社外研修参加など職場環境の改善や社員教育にも積極的に取り組まれています。これからも気軽に商工会を利用してください。(商工会担当より)

企業さまの視点で経営を支援します



福島県商工会連合会

秘密厳守・無料 窓口相談・専門家派遣 まずは、お気軽にご相談下さい。
お電話・窓口相談は、平日9:00~17:00 / FAX・メールでも受け付けております。

指導部 経営支援グループ

福島市三河南町1番20号コラッセふくしま9F
TEL : 024-525-3411
FAX : 024-525-3413
MAIL : keiei@do-fukushima.or.jp



会津広域指導センター

会津若松市南千石町6-5会津若松商工会館2F
TEL : 0242-28-0731
FAX : 0242-38-2124
MAIL : aizu@do-fukushima.or.jp



中通り広域指導センター

郡山市成山町15-2
TEL : 024-945-7860
FAX : 024-937-0082
MAIL : naka@do-fukushima.or.jp



浜通り広域指導センター

いわき市平堂根町4-17いわき中央ビル5F
TEL : 0246-25-1011
FAX : 0246-25-1013
MAIL : hamadori@do-fukushima.or.jp

